

【2021年3月新着図書案内】

情報コーナーに新しい図書が45冊入りました！

書名	著者名	出版社	発行年	分類	内容
『女と男じゃなくて私とあなたで話そう』	岩井美代子、 ふじわらかずえ著	ワニブックス	2020年	152.1イ オレンジ	アサーティブネス・トレーニングの手法をベースに、大切な相手との「ふたりらしいつき合い方」を探す。
『第三の性「X」への道 男でも女でもない、ノンバイナリーとして 生きる』	ジェマ・ヒッキー著 上田勢子訳	明石書店	2020年	289.3ヒ アオ	カナダで初めてノンバイナリー(男性にも女性にも分類されない性別)の出生証明書を取得した著者による回想録。
『女性管理職1年目の教科書』	野見山玲子、齊藤麻子著	日本経済新聞 出版社	2019年	336.3ノ アカ	管理職や経営層の仕事をより楽しめる土台を作るために知っておくべきことや身につけるべきことを、研修での生の声や事例を通して伝授する。
『仕事も人生も自分らしく イマドキ女性管理職の働き方』	麓幸子著	日経BP	2020年	336.3フ アカ	自分らしい管理職になるために、昇進に対する不安や葛藤を抱える女性たちにおける数々の事例と自身の体験に基づくヒントやアドバイス。
『なぜ、身近な関係ほどこじれやすいのか？』	森田汐生著	青春出版社	2020年	361.4モ アカ	身近な人間関係の中でどのようにお互いに信頼関係を築いていくのかというテーマを取り上げ、様々なストーリーを通じて、アサーティブと共鳴する考え方と伝え方のヒントを紡ぐ。
『社会・からだ・私についてフェミニズムと 考える本』	井上彼方編著	社会評論社	2020年	367.1イ ミドリ	社会・制度・人々の価値観を問うてきた社会運動であるフェミニズムについて、「からだ」という観点から考える。
『〈家父長制〉は無敵じゃない —日常からさぐるフェミニストの国際政治』	シンシア・エンロー著 佐藤文香監訳	岩波書店	2020年	367.1エ ミドリ	日常的な性差別を支え、ジェンダー不平等を生み出す考え方と関係性のシステムである家父長制について、フェミニスト国際政治学の第一人者がその手ごわさともろさを論じる。
『女性の世界地図 —女たちの経験・現在地・これから』	ジョニー・シーガー著 中澤高志、他訳	明石書店	2020年	367.1シ ミドリ	ジェンダーやセクシュアリティに関わる差別や不公正をグラフや地図で「見える化」することで、ジェンダー格差を一目瞭然にする。フェミニズムによる世界の再地図化。
『「男女格差後進国」の衝撃 —無意識のジェンダー・バイアスを克服する』	治部れんげ著	小学館	2020年	367.1ジ ミドリ	日本で男女格差が縮まらないのはなぜ？今、世界に広がるジェンダーに基づく「らしさの決めつけ」や、格差を解消するための試みを紹介する。
『被害と加害をとらえなおす —虐待について語るということ』	信田さよ子、 シャナ・キャンベル、 上岡陽江著	春秋社	2019年	367.1ノ ミドリ	虐待、DV、薬物依存を生きのびた女性と、臨床心理士、精神保健福祉士が、暴力の知られざる影響などについて語る。
『女性差別はどう作られてきたか』	中村敏子著	集英社	2021年	367.2ナ ミドリ	女性差別が生まれるまでの過程を政治思想史の観点から分析し、西洋と日本で異なるその背景を「家父長制」という概念により読み解く。
『「母と息子」の日本論』	品田知美著	亜紀書房	2020年	367.3シ キイロ	母と息子の関係から、現代の日本で、女性への差別や弱い人々への差別が広く深く起きているのはなぜかを解き明かす。

書名	著者名	出版社	発行年	分類	内容
『離婚の新常識！ 別れてもふたりで子育て』	しばはし聡子著	マガジンランド	2020年	367.4シ キイロ	離婚しても両親で子育てをする「共同養育」や、夫と親同士の関係を作るコツなどを伝授する。
『これからの男の子たちへ 「男らしさ」から自由になるためのレッスン』	太田啓子著	大月書店	2020年	367.5オ ギン	男子を育てる弁護士が、子育ての中で感じるジェンダー・バイアスや「男の子問題」、性の話などを綴った子育て論。
『さよなら、男社会』	尹雄大著	亜紀書房	2020年	367.5ユ ミドリ	真に女性と、他者とつながるために、乗り越えねばならない「男性性」の正体を探る。
『面前DV、虐待被害者の叫び』	須賀朋子著	かりん舎	2020年	367.6ス ギン	子供の前で、親が配偶者に暴力をふるう面前DV。その被害者、または親からの暴力や虐待、または両方の被害を受けている11名へのインタビュー調査。
『思春期の性と恋愛 子どもたちの頭の中がこんなことになってる なんて！』	アクロストン著	主婦の友社	2020年	367.9ア オレンジ	今の子どもたちが抱く悩みに対して、親は子供たちにどのようにアプローチすればよいのか、性の知識をどうアップデートすればよいのかを解説する。
『愛と性と存在のはなし』	赤坂真理著	NHK出版	2020年	367.9ア オレンジ	「セクシュアル・マイノリティ」「草食男子」などを取り上げ、社会批評とともに著者個人の生の探求を綴る。
『ひとりひとりの「性」を大切にできる社会へ』	遠藤まめた著	新日本出版社	2020年	367.9エ オレンジ	差異や差別をめぐるコミュニケーションの難しさや可能性を、一緒に考えていきたいとして書かれた一冊。
『おやこで話すはじめてのLGBTs きみは世界でただひとり』	鶴岡そらやす著 一芒イラスト	日本能率協会 マネジメント センター	2020年	367.9ツ オレンジ	性、恋愛、結婚、家族など、自分らしさを大切にしながら生きていくために、大人も子供も知っておきたい大切なこと。
『はじめよう！SOG Iハラのない学校・職場 づくりー性の多様性に関するいじめ・ハラス メントをなくすために』	「なくそう！SOG Iハラ」 実行委員会編	大月書店	2019年	367.9ナ オレンジ	SOG Iハラ(性的指向や性自認(SOG I))に関連したハラスメントに関する基本的な捉え方から、事例も紹介した入門書。
『おうち性教育はじめます 一番やさしい！防犯・SEX・命の伝え方』	フクチマミ、村瀬幸浩著	KADOKAWA	2020年	367.9フ オレンジ	子供に何をどう話すかということと並行して、親として人として改めて性について学びなおすという視点を大切にして書かれた参考書。
『改訂新版LGBTってなんだろう？ ー自認する性・からだの性・好きになる性・ 表現する性』	薬師実芳、笹原千奈未、 古堂達也、小川奈津己著	合同出版	2019年	367.9ヤ オレンジ	どこにもいる、多様な性を持つ子供たちについて知ってほしいー学校などでLGBTの子供からの相談に対応できるような様々な知識を、場面ごとに紹介する。
『誰かの理想を生きられはしない とり残された者のための トランスジェンダー史』	吉野鞆著	青土社	2020年	367.9ヨ オレンジ	報道されなかった出来事や視点、人物など、見えないようにされていたもの、見ていなかったものを丁寧に紡ぎだしたトランスジェンダー史。
『性暴力被害の実際 被害はどのように起き、どう回復するのか』	齋藤梓、大竹裕子編著	金剛出版	2020年	368.6サ オレンジ	「望まない性交」を経験した当事者による経験の「語り」を、被害者の人生に及ぼす影響や回復への道のりといった観点から分析する。
『防犯・防災 ひとり暮らしのあんしんBOOK』	セコム・女性の安全委員会著	大和書房	2019年	368.6セ ピンク	自宅・外出中・ネットにおける防犯から防災まで、ひとり暮らしの女性が安全で快適な毎日過ごすために知っておきたい防犯・防災のアイデア。
『親の介護がツラくなる前に知っておきたいこと』	島影真奈美著	WAVE出版	2020年	369.2シ ピンク	老いた親とぶつかりやすいシチュエーションをどうやって切り抜けるか。親の心に効果的に働きかけるアプローチや、ストレスを抱え込まずに親をサポートしていくためのヒント。

書名	著者名	出版社	発行年	分類	内容
『被災したあなたを助けるお金とくらしの話』	岡本正著	弘文堂	2020年	369.3オ ピンク	災害がおきてから多くの方が直面する悩みを解決するきっかけとなる法律や制度など、大きな被害を受けたとしても、絶望することなく、最初の一步を踏み出すための知識の備え。
『シニアのための防災バイブル』	大人のおしゃれ手帖 特別編集	宝島社	2019年	369.3オ ピンク	被災したシニアのリアルな声で作られた、シニアに必要な備えと対策。
『シニアのための防災手帖』	三平洵監修	産業編集センター	2019年	369.3サ ピンク	災害関連死や災害直接死にも繋がる避難行動など、シニアの命を守るために必要な防災のポイントをまとめる。本当に必要なことは何かを考えるきっかけづくりのために。
『大切なのに誰も教えてくれなかった 女子の心と体のトリセツ』	神藤多喜子著	大和書房	2020年	495シ オレンジ	生理や女性ホルモンとの付き合い方や様々なアドバイスなど、女性が健やかに生きていくための情報を若い世代に伝える。
『「閉経」のホントがわかる本 更年期の体と心がラクになる!』	対馬ルリ子、吉川千明著	集英社	2020年	495.1ツ オレンジ	閉経前後にやってくる不調を解決するために知っておきたい女性ホルモンに関する知識と、自分の体との向き合い方。
『コロナと向き合う 私たちはどう生きるか』	婦人之友社編集部編	婦人之友社	2020年	498.6フ オレンジ	先の見えない不安の中、15名の筆者によるこれからの生き方を問うメッセージ。
『青のフラッグ 1～8』	KAITO著	集英社	2017年～ 2020年	726.1カ チャイロ	高校3年生の春、将来の進路に悩む時期に出会った3人の男女の恋愛を描くコミック。
『あした死ぬには、1』	雁須磨子著	太田出版	2019年	726.1カ チャイロ	42歳、独身、ハードワークをこなす女性を主人公に、40歳代女性が直面する体調の変化や人間関係のあれこれを描いたコミック。
『少女だった私に起きた、電車のなかでの すべてについて』	佐々木くみ、 エマニュエル・アルノー著	イースト・プレス	2019年	953.7サ チャイロ	日本で、ある少女の身におきた、10年以上前の電車内での痴漢被害をもとに書かれた小説。痴漢の経験が、少女の人生や考え方をいかに変えてしまったか。
『いいタッチわるいタッチ 〈だいじょうぶの絵本〉』	安藤由紀著	復刊ドットコム	2016年	Eア ☆	性的虐待を防ぐために、自分を守る力をつけようと呼びかける絵本。
『わたしがすき 〈だいじょうぶの絵本3〉』	安藤由紀著	復刊ドットコム	2019年	Eア ☆	生きていく力の源となる自己肯定感(セルフ・エスティーム)を持つことの大切さを伝える絵本。

書名	著者名	出版社	発行年	分類	内容
----	-----	-----	-----	----	----